

平成24年2月15日

長野市長 鷲澤 正 一 様

長野市中心市街地活性化連絡協議会
会長 北 村 正 博

第二期長野市中心市街地活性化基本計画の案について（回答）

平成24年1月17日付け23まち第173号で協議のありました標記の件について、本協議会は案を了承します。なお、下記のとおり意見を申し添えますので、中心市街地活性化に向けての事業実施にあたりまして配慮していただくようお願い致します。

記

高度情報化の急速な発展、多様化する消費者の価値感などの影響を受け、商業環境が大きく変化しており、空き店舗等の影響から商業経営の環境悪化も予想されます。都市の空洞化が深刻化している中、長野市は平成26年度の金沢までの新幹線延伸等、交通機能の向上により都市間競争の激化が予想されます。

人々の集散が容易に行われる中心市街地は、街の顔としての役割は大きく、多くの観光客や多くの市民が長野市中心市街地に訪れ、回遊し、参加し、居住する街づくりが急務であり、活性化基本計画に掲げる各事業の実施により、多機能でコンパクトな都市を目指しております。

本協議会は法第9条第1項の規定により、貴市による「第二期長野市中心市街地活性化基本計画案」について協議し、様々な主体が参加する街づくりの運営を横断的、総合的に調整することで、長野市中心市街地の活性化と市勢の発展に寄与することを目的としています。

従いまして、以下により本協議会の意見を申し述べます。

本協議会としての意見

基本計画に掲載されている事項について、本協議会は賛同いたします。以下については中心市街地の活性化に向けて必要な取り組みと考えますので、公民共同により事業を推進することを望みます。

- ・ 門前都市長野として、そのブランドにより磨きを掛け魅力ある景観づくりを目指していただきたい。
- ・ 長野市の玄関口としての長野駅は門前町としての個性のある駅舎を望みます。
- ・ セントラルスクエアは長野市中心市街地のブランドであり、その後利用に大いに期待をしております。
- ・ 在住市民の生活環境づくりのため、後町小学校後利用に街の活性化が大いに関わりがあります。重点施策で街の核づくりと市民が活用できる施設を期待します。
- ・ 物を売るだけの街でなく、事（文化・教養・福祉・娯楽等）や時間（滞留時間）を重点的に置いた街づくりを期待します。
- ・ 県庁緑町沿線地区には、門前の歴史的遺産があり、史跡や小路への配慮を検討していただきたい。